

3M™ 漏水センサー S-1FP (配管用)

取扱説明書

漏水センサーをご使用になる前に、本書を必ずお読み下さい。

<使用上の注意>

- ・センサー布設前に「漏水検知システム解説書」をよくお読み下さい。
- ・センサーを漏水検知以外の目的に使用しないで下さい。
- ・埃が多い場所や、結露が発生する場所への布設は避けて下さい。
- ・本センサーは、1 漏水検知器当たり 50m 以内でご使用下さい。
また、ジャンパー線（漏水検知器とセンサーとをつなぐ線）を使用する場合は、本センサーを含めて1 検知器当たり 150m 以内でご使用下さい。
- ・外部電磁誘導を受け易いところでは、ジャンパー線はシールドタイプのものを使用して下さい。
- ・漏水センサーやジャンパー線を強電回路ケーブルと並走させるときは、ノイズによる誤動作をしないよう 30cm 以上離して下さい。
- ・次のいずれかに該当する場合は使用できません。
 - ・検知する液体が塩酸、硫酸などの場合
 - ・液体の導電率が非常に高く、ウエス等で拭きとっても導電性成分が残留しやすいもの
（例：現像液、人工透析液）
- ・漏水センサー布設時は、センサーに油等が付かないようにして下さい。
- ・本センサーは、当社製漏水検知器の特性に合わせて設計されています。他社製漏水検知器と組み合わせ使用しないで下さい。
- ・本センサーは、当社製アウトレット型漏水検知器（WR-B1）と組み合わせ使用できません。
- ・漏水検知器の検知感度は「70kΩ 以上」に設定して下さい。
- ・使用前に漏水検知器の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

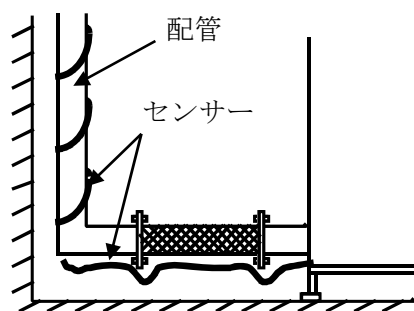


図1 使用例

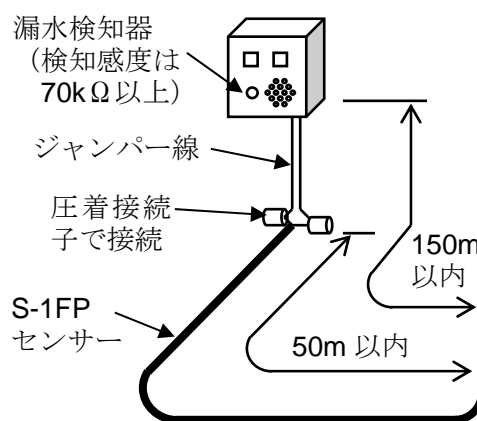


図2 システム構成図

<配管布設方法>

1. 水平配管

センサーを配管の真下になるように密着させて、センサーがたるまないように結束バンドで固定します。(図3)

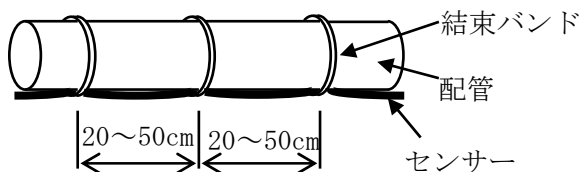


図3 水平配管への布設

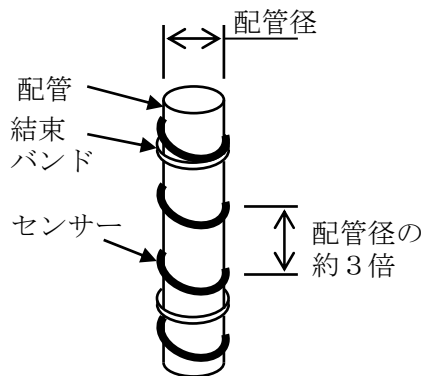


図4 垂直配管への布設

2. 垂直配管

センサーは螺旋状に配管径の約3倍の間隔で布設し、センサーが弛まないように結束バンドで固定します。(図4)

3. センサーの接続方法 (図5)

センサー同士またはジャンパー線 (0.75^{mm}以上) との接続は、絶縁被覆付閉端接続子 (CE1) を使用して下さい。(センサーの芯線は 0.3×1.5 (mm) の平角線です。)

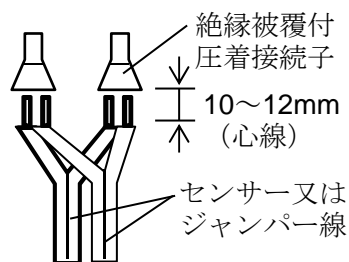


図5 接続方法

4. センサーの末端処理

センサー末端はビニルテープを巻くなど、メッシュが解けないような処置をしてください。

5. 終端キットについて

WR-M8 型や WL-AD-2002-A 型漏水検知器を使用するときには、センサーの末端に自己診断用終端キットを接続して下さい。(図6)

注) 終端キットを接続しないと自己診断やセンサー断線検知機能は働きません。

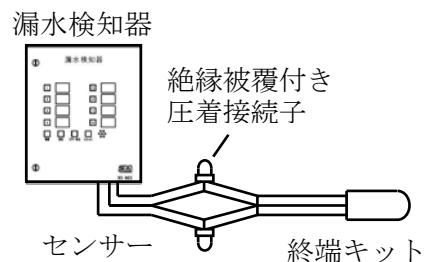


図6 終端キット接続

<保守について>

布設後は、1回/年以上の頻度で、実際にセンサーに水をかけて動作機能を確認して下さい。(図7)

動作確認上の注意

- ・センサーに水をかけるときは、水平配管部を避けて、垂直配管部や漏水検知することがない部分で行って下さい。
- ・水によるテスト後は、誤報が発生しないように乾いたウエス又はティッシュペーパーでセンサーを拭いて、水分を完全に除去して下さい。

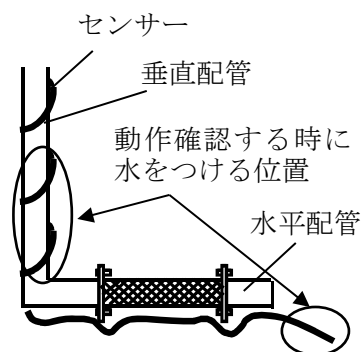


図7 動作確認

スリーエム ジャパン株式会社

通信・電力ソリューション事業部

<http://www.mmm.co.jp/electro/>

カスタマーコールセンター

製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-321

ナビダイヤル[®]市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間/8:45 ~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)